

子どもに豊かな学びを

発行：学び場人材バンク事務局
 (管理運営団体：NPO法人 高知県生涯学習支援センター)
 〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目1-10 3F
 TEL:088-855-7595 FAX:088-855-7607
 URL:https://www.kolec.jp/ E-mail:kodomo-p@kolec.jp

すくらむ

すこやかなそだちを くらうもあるけど らっかん主義で もげんの可能性を 皆で応援 子ども 伸ばそう



撮影：片山 博司

ホツトな話題

手作りマスクを寄贈

コロナ禍で今年の夏休みは、例年に比べ1〜2週間短縮され、その影響で出前講座も昨年の半分ほどでした。

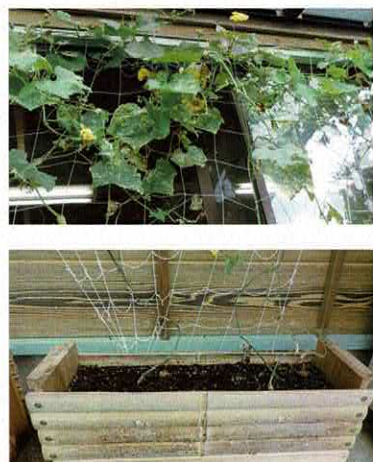
講師の先生方も暑い中、マスク着用で声が十分届かず、苦勞されていました。

そんな中、押し花アートやハーバリウムの講師をお願いしている片岡ゆかり先生は、主宰する「やまももの夢工房」の皆さんと布マスクを製作。出前講座をお願いした、日高村のくさか児童クラブと南国市のまほろば学童に寄贈してくださいました。



布の種類も色々で、ワンポイントアークセサリーのついた、とても素敵なマスク。さすが、押し花アートで培ったセンスあふれる思いのこもったマスクで、両クラブの子どもや支援員さんも大喜びでした。

「へちま」で緑のカーテン



今年の夏は、異常ともいえる猛暑で、熱中症と新型コロナウイルスの感染防止対策で、児童クラブの支援員さんや子ども教室のスタッフの皆さんも例年以上の気苦勞が多かったと思います。

濱口佳太さん(前・情報交流館施設長)は、自宅で育てたへちまの苗を美良布保育園や山田高校、南国市のめだか学童クラブ等に寄贈しました。



めだか学童クラブでは、子どもたちとゴーヤの苗を植えるプランター作りも。

「子どもたちもプランターづくりから苗の育て方を教えてもらって、本当に良かったです。」(支援員談)

支援員さんは

こどもの太陽!



「学び場人材バンク」
コーディネーター 勝賀瀬 泰司

令和2年6月より「学び場人材バンク」のコーディネーターとして働いています。

今、濱崎さんと一緒に「児童クラブ・子ども教室」の支援員さんを訪問する毎日です。

今年にはコロナ禍の影響で長期間にわたって学校が休校になり、支援員の皆さんが「児童クラブ・子ども教室」を大変な思いで運営していると聞きまし。支援員さんの勤務時間の調整や教室の消毒等、子どもたちの健康を守るために、「毎日が綱渡りのよう」で緊張し、ひやひやしていました」と語る姿がとても印象的でした。

私が小学生の頃は児童クラブ等はなく、両親は共働きだったので、夏休みになると、私と弟は田舎のおばあちゃんにあずけられ、大豊町の山で真っ黒になつて走り回っていました。

私の子どもたちも児童クラブにお世

話になっていましたので、今回、「児童クラブ・子ども教室」を訪問させて頂いて支援員の皆さんの様子が分かって、とても良かったです。

訪問先の子どもの私たちはとても元気です、知らないおじさん(私)を見つけては、「元気に「こんにちわ」と、挨拶を返します。私も思わず、大きな声で返事を返しては子どもたちから元気をもらっています。

子どもたちは、今回のコロナ禍をどう受け止めているのか? 一見、元気そうに見える子どもたちの心に寄り添いながら、「児童クラブ・子ども教室」を運営する支援員さんに頭が下がる思いです。

今回配布している新しい出前講座のメニューは、デザインを一新しました。写真付きカラー刷りとなり、とても見やすくなったと喜んでもらっています。

子どもたちが出前講座で経験した「体験や学び」を通して、色々な事に興味を持ってもらえたらと思いつつ、出前講座のメニューを配っています。

まだまだ駆け出しですが、これからもたくさんさんの研修会や行事が控えていますので、一生懸命に勉強して、「学び場人材バンク」の一員として頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

訪問した際には

よろしくお願ひします



「学び場人材バンク」
コーディネーター 濱渦 次郎

令和2年9月より「学び場人材バンク」のコーディネーターとして働くことになりました。

まだ、どこの「児童クラブ・子ども教室」等の訪問もしていませんが、これから勝賀瀬さん等と一緒に訪問する事になると思いますので、その時はよろしくお願ひいたします。

私は、高知県東部の北川村立小中学校の卒業生です。当時、児童クラブ等はなく、学校から帰ると、夏は家の前の川で水泳や魚とりをし、川が寒くなると野山を駆け回っては上級生と缶蹴り、河原や田んぼでソフトボールをして遊んでいました。

「児童クラブ・子ども教室」については、今、孫が通っており、宿題や物づくりをしたり、忘れ物を預かってもらったり等のお世話になっています。

また、緊急時の連絡先が私の妻になつてのことから、たびたび電話がか

かり、担当の方に相談したり、お願いしたり等、支援員の皆様には大変お世話になっていきます。

コロナ禍の影響で支援員さんが「児童クラブ・子ども教室」を運営するためには、教室の消毒等や気配りを行い、子どもたちの健康維持に尽力されていることに頭が下がる思いです。

これから、私が携わっていく仕事の内容は、子どもたちに対する出前講座や支援員さんたちのスキルアップのための研修や人材の発掘、育成支援等ということですので、その時はよろしくお願ひいたします。

駆け出しの新米ですが、現在、地域で毎月第3週の木曜日に行っている児童の見守り活動とともに、たくさんさんの行事が控えている「学び場人材バンク」の仕事の内容を一生懸命に勉強して頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

出前講座メニュー配布中!

「楽しく学べる出前講座」の令和2年度のメニューを配布しております。まだ、お手元に届いてない方はご連絡下さい。



コロナに負けない！ 今だからこそオンライン講座！

令和2年3月初旬、新型コロナウイルスへの感染拡大防止のため、学校の臨時休校で長い長い春休みの幕開けとなった。子どもも大人もこれまで経験したことのない、目に見えない新型コロナウイルスとの闘いで不安な日々。

そんな中、学び場人材バンクでも児童クラブ・子ども教室の子どもたちや先生方、出前講座の講師のため、この緊張した自粛期間に何かできないか頭をひねった。

「そうだ！オンライン講座を始めよう！」

早速、LINEを使って、オンライン講師会を開催し、子どもたちのため、児童クラブや子ども教室の先生方のため、さらには出前講座の講師のため、知恵を出し合った。

その結果、手始めに、事務局メンバー



で、子どもたちや児童クラブ・子ども教室の先生方向けの手縫いのマスク作りの動画制作が決定。カメラマンは、プロカメラマンでコーディネート兼講師の片山、企画は講師の高橋、コーディネーターの森本、高橋出演で人材バンク初の試みに挑戦した。

第2弾は、レクリエーションや折り紙等の講師としてお世話になっていく千斗枝グローバル教育研究所主宰の山中千枝子先生の「楽しくかんたん家庭学習」講座。

2回目ともなれば、皆も要領を得て、第1弾を上回る出来栄となった。(自画自賛！)

さらに、芸西村教育委員会からもフェイスシールド作製のオンライン講座用の動画作成の依頼が来るなど、大成功の企画となった。

コロナ禍のなか、私たちの挑戦はまだまだ続いている。
(高橋 記)

出前講座から学んだ これからの生涯学習の形



私は、学び場人材バンク事務局で出前講座の講師依頼書や出前講座決定通知書の発行など、主にデータ管理業務を担当しています。

また、「講師」かたやん」として児童クラブ等での出前講座も行っています。

本職は、フォトグラファー。商品や料理、企業のプロモーションなど、広告写真撮影をメインとして活動。学校行事の写真や家族写真、終活写真も撮影しています。

今年度は、事務局の引越しと新型コロナウイルス感染拡大が重なって混乱のスタートとなりました。ウイルス感染防止のため、3密を避けることが必要とされる中、講師が児童クラブ等の集団の中に赴く「出前講座」の開催はリスクなものです。そこで学校に行けず、自宅待機を余儀なくされた子どもたちや児童クラブ等の子どもたちのために、動画を使って学習する教材が必要と考え、出前講座の講師が出演して行うDVD教材を製作することになりました。

のがフェイスシールドでした。

幸い、「動画で学ぶ出前講座」3作目のフェイスシールド作りの撮影・編集に携わったので、作り方は頭の中にあります。ラミネートフィルムを使った「芸西村式フェイスシールド」をベースに、自分なりにアレンジして、まず、私とアシスタント用を製作しました。そして、その改良型を講座数の多い「さんちゃん」こと、高橋昌美さんに使ってもらいました。評判は上々！いろいろなシーンで活用できると、その可能性を感じています。

動画を使ったオンライン講座では、まだまだカバーしきれません。やはり、講師と子どもたちが現場でコミュニケーションのとれる「生」の出前講座は代えがたいものがあると感じました。

とはいえ、今後、若手の講師発掘や育成のための教材であったり、人材バンクに登録はしているものの、なかなか講師の機会に恵まれない方々のための説明動画であったり、ネット配信を利用して子どもたちや支援員の皆さんが気軽に学べる新しい出前講座の在り方や仕組みづくりも必要です。

考えればきりがありません。まずは、できることから。先は長そうですが、今後とも、子どもたちのために、社会教育の場を提供していくお手伝いを続けていくつもりです。

プロフィール

片山 博司(かたやまひろし) 昭和40年生まれ、55歳
フリーランスフォトグラファーとして活動中。
公益社団法人日本広告業協会(JA)の正会員、高知県パドミントン協会理事兼、高知県小学生バドミントン連盟副会長、高知県バドミントン協会副会長、NPO法人高知生涯学習センター「学び場」人材バンク協力者。
出前講座「家庭学習」の講師として、「さんちゃん」の制作や、本誌の取材に協力。

いんふめーしょん ～お役立ち情報～

研究会のお知らせ

| 研修会名・内容等 | 日時 | 場所 |
|---|---------------------------------|----------------------------------|
| 「新型コロナウイルス感染症対策研修」 【体験活動】「フェイスシールド作成①」 講師： 学び場人材バンク 片山 博司 氏 | 〈東部〉 10月23日(金) 9:30～11:45 | 安田町文化センター 多目的ホール (参加人数38名) |
| 【講義】 「新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理について」 講師： 高知県教育委員会事務局保健体育課 | 〈西部〉 10月27日(火) 9:30～11:45 | 宿毛市立中央公民館 多目的ホール (参加人数19名) |
| 【体験活動】「フェイスシールド作成②」 講師： 学び場人材バンク 片山 博司 氏 | | |
| 【グループワーク】 各事業実施箇所における感染対策の 情報交換、発表等 | 〈中部〉 10月30日(金) 9:30～11:45 | 高知青少年の家 大集会室 (参加人数51名) |

上記研修会の報告（アンケート）

- フェイスシールドは、手軽で子供たちも作れそうでとても参考になりました。
- 講義では新型コロナウイルス感染症についても、ウィズコロナの観点で衛生管理について再認識、再考することができました。
- 情報交換もできて良かったです。 参考になりました。 (アンケート回収97名)

研修会の満足度は？

研修会内容は今後の業務に役立ちそうですか？

| 良かった | 良くなかった |
|------|--------|
| 97名 | 0名 |
| 100% | 0% |

| 良かった | 良くなかった |
|------|--------|
| 97名 | 0名 |
| 100% | 0% |

【問い合わせ先】 高知県教育委員会事務局生涯学習課 地域学校協働支援担当：仁木、浜渦
 〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7番52号 TEL:088-821-4897 FAX:088-821-4505

出前講座講師養成教室 実施中!!

- ★受講料：無料 ★材料費：実費
- ★申し込み資格：講師になりたい方(成人)
- ★受講日時：土・日・祝日(要予約)

※日時・会場、講座内容等、詳細は
 電話にてお問い合わせください。
 TEL:088-855-7595(FAX兼)

(例) キャンドル教室の講師



講師への道順

- 講師になれるまで、担当講師が丁寧にお教えします。
- ①実技講習では、キャンドル作りの基本から、出前講座で制作する作品の作り方を学習します。
 - ②実践講習では、担当講師の出前講座に付き添い、子ども達への教え方、講座の進め方を実際に体験して覚えます。何度でも付き添い練習は可能なので、自信がつくまで体験し、覚えて下さい。解らない事はその都度、担当講師に質問して、独り立ちできるよう体験を重ね学習して下さい。
 - ③講師として独り立ちできる自信がつけば、いよいよ本番です。今度は担当講師が付き添いのもと、あなたの講師デビューとなります。晴れて講師として、学び場人材バンク(出前講座)でご活躍下さい。

光陰矢の如し。「学び場人材バンク」も平成21年に設置されて、早や12年目に突入です。今や、学びの充実のための出前講座も一定の評価をいただけるようになったのではないかと密かに自負しております。今年度からコーディネーターとして勝賀瀬泰司、濱渦次郎の新戦力も加わり、コロナ禍の中、私も立場は少し変わりましたが、「学び場人材バンク」のさらなる発展、充実を目指して、頑張っていきます。今後ともご支援をお願いします。(濱崎)

コロナの影響により世の中は沢山の变化がありました。太古の昔から自然の流れには逆らえないのが地球上の生き物なのですが、それでも人々はそんな中でも最善の対策を考え出し、新しい未来に向かっていきます。変化はある意味次の未来へのステップなのではないのか？と私は常に思います。かくいう私にも変化が訪れています。部署変更の為、皆様とは少し離れたところからのお手伝いにはなりますが、皆様の素敵な未来をいつもいつも願っております。(高橋)